震災から8度目の夏を迎えた宮城県

東日本大震災から7年が過ぎ、宮城県内の各被災地では目覚しい復興を遂げています。津波被害の大きかった沿岸部では、大規模なかさ上げ工事が進み、新しい街並みが見られるようになりました。また震災から8回目の夏を迎え、新たに海水浴場が営業を再開するなど、少しずつではありますが、着実に震災前の活気を取り戻しつつあります。今回はそんな宮城県の「いま」を写真でお伝えします。

~県北地区~

気仙沼市



8/4~8/5に開催された「気仙沼みなとまつり」のようす。

女川町



女川駅前の商業施設。休日は多くの人で賑わいます。

南三陸町



昨年から遊泳可能となった「サンオーレそではま」。 今年も 7 /14に海開きしました。

南三陸町



7月28日に開催された「志津川湾夏まつり」のようす。

石巻市



今年から遊泳可能となった「渡波海水浴場」。台風通過の翌日にもかかわらず、午前中から海水浴客が訪れていました。

石巻市



7/31~8/1に開催された「石巻川開き祭り」。 写真は7/31に行われた孫兵衛船競漕のようすです。

~ 仙台/仙南地区 ~

東松島市



運営再開3年目の「月浜海水浴場」。今年も7月14日に 海開きとなり、たくさんの人で賑わっていました。

岩沼市



津波被害のあった岩沼市の沿岸部(寺島地区)。 青々とした田園が広がります。

亘理町



きれいに整備された亘理町の「鳥の海」。 この日は平日でしたが、休日には多くの家族連れが釣りを 楽しみます。

七ヶ浜町



7月14日に海開きした「菖蒲田海水浴場」。 海の家が建ち並び、多くの人が訪れていました。海浜公園も きれいに整備され、新しいお店も増えています。

塩竈市



7/15~7/16に開催された「塩竈みなと祭り」のようす。

山元町



7/21~7/31まで開催された『やまもとひまわり祭り』 津波被害のあった山元町東部地区にひまわりが咲き誇ります。